

いなげビレッジ 虹と風

- ・見学日時 2015年4月4日
- ・見学者 高瀬 敦 高橋 愛香
- ・お世話になった人

VAIC コミュニティケア研究所

専務理事 津田祐子 様

生活クラブ風の村いなげ

施設長 島田 朋子 様

・施設概要

所在地：千葉市稲毛区園生町

開所：2011年

生活棟 2階建て，福祉棟 3階建て

グリーンプラザ園生の中に立地している。団地の入居者年齢は、30代から40代、60代から80代が多く、入居者の世帯人数は1人世帯と2人世帯が多い。

基本方針として、多様な法人の共同で誰もが安心して生活できる地域づくりを支えている。団地内や周辺的生活支援などを行っている。



航空写真 <http://www.bing.com/maps>



だれでもいつでも 自分らしく働き 暮らし たすけあいわかちあう にぎやかでおしゃれな街づくりの拠点

私たちは、くらしと福祉の複合拠点として、地域のみなさんが、住み慣れた「稲毛」においていつでも楽しく豊かな日常生活を送るためのお手伝いをします。

キーワードは「つながり」。くらしや福祉の困りごと、疑問など、なんでもご相談ください！ワンストップで対応します！

- ① 毎週火曜・木曜開催している**子どもカフェ**には大勢の子どもたちが集い自由に遊び合っています
- ② **あなご企画**は、地域の方たちが集い、交流する場。幅広いテーマで複数の教室が開かれています。
- ③ **生活クラブ虹の街**では、安全・健康・環境をテーマに料理教室や講座を開催しています。
- ④ **リラックス館**には大勢の親子が来ます。遊んだり、相談したり、おしゃべりをしたり。その目的はさまざまです。
- ⑤ **デポー 園生**は小売り店舗。日用品も売っていますが、なんととっても新鮮な野菜やお肉、お魚などの生鮮食品がウリです！
- ⑥ **ボサマティ**は、デポー 園生の一角にあるお惣菜やお弁当のお店。配達サービスやパーティーオーダーも承っています。
- ⑦ **生活サポートクラブ**で取り扱っている福祉用具の一部を展示した「ヨーウィドウ」来て、見て、触って福祉用具を身近に感じていただければ幸いです。

- ⑧ **カフェCache-Cache**（カシュカシ）は、1人でもふらっと気軽に立ち寄れちゃうスペース。ランチはお手頃価格！おいしい手づかみスイーツもおすすめです！
- ⑨ **あかとんぼ稲毛**は、障がいのある児童の通所事業所です。障がい種別や年齢問わず、利用いただけましたら幸いです。緊急お泊りもお受けしています。
- ⑩ **デイサービスセンター 稲毛**は、利用中の時間を自由に楽しむことができて、ただいま日常生活に必要なチカラを維持するための運動、別浴槽での入浴も提供しています。



- ⑪ **風の村いなげ階**にあるサービス付き高齢者向け住宅 **カボトウズ**。全20室で、10室ごとにユニット（生活単位）を組んでいます。
- ⑫ **風の村いなげ階**にある **ショートステイ**は全20室。10室ずつユニット（生活単位）を組んでいます。
- ⑬ **W. Cafe 園生**は風の村いなげの食事づくりを一緒に引き受けています。季節感のある安全でおいしい食事に定評があります。
- ⑭ **園生診療所**は、外来と訪問診療の両方を行っています。予防接種や健康診断も受け付けていただけます。どなたでもかかれます。
- ⑮ **風の村の事務所**。ホームヘルプ、ケアプラン作成、訪問看護の事業所の事務所が集まっています。

①こどもカフェ

放課後のこどもたちの居場所であり、見守っているスタッフはこどもたちが自由に遊べるように口出しをしない。サ高住の方が訪れたりもする。



虹の街2階のこどもカフェ
パーティションで隣の子ども一時預かり所と繋げることもできる。

②あみいこ企画

サ高住の人たちがスタッフに誘われて参加したり、団地に住む高齢者のお出かけの場所となっている。

④リラックス館

親子と一緒に過ごす場所であり、親同士やこども同士の交流がある。

⑤デポー園生

安全と環境には特に気を配っている。卵は、産んだ鶏の状態を確認したり、容器は瓶を使用し、リユースして使っている。



⑧カフェ Cache-Cache

車いすやベビーカーでも入りやすいように、店内だけでなく入り口にも段差がない。



⑩デイサービスセンター稲毛



「風の村」入り口には防犯や施設利用者の安全の為に暗証番号を入力するようにしている。

小さな椅子、小さなテーブルを利用している。テーブルは六角テーブルで、自由に配置できる。

見学日は「桜さんぽ」というイベントがあり、施設内もイベントの雰囲気の中で包まれていた。

⑭ショートステイ

施設に入居できず、ずっと泊ってしまう方がいるという問題がある。



トイレ

手すりは介護のやり方をどのようにしていくか決め、それに合わせて設置された。後方介護できるように後ろにスペースがある。



室内

ベッドは移動でき、利用者や介護の方法によって位置を変えている。



浴槽

手すりの代わりにつかめるような窪みがある。



キッチン

ユニットごとにキッチンがある。LDK。

感想

施設外の団地内に住む高齢者にもサポートをしている施設でとても良い印象だった。地域活性化のためのイベントなどでも、施設内と地域の交流を生むためにスタッフが声を掛けるなどの配慮があり、施設間での連携も強く、スタッフ同士で利用者の特徴などの情報を共有し、様子が変わったらスタッフから声を掛けているというお話を聞いた。相談が必要な方でも相談に来れない人のことを考えていることや、高齢者のお出かけの場として生活棟の施設が利用されていることは重要な事だと思った。

福祉棟の方では、2階のショートサービスと3階のサービス付き高齢者向け住宅で同じプランであり、「建物がある程度出来上がってしまっていたところに、自分たちの介護に合わせて手を加えていった」ので、居室の配置などは決まっていて要介護度などに関わらず、空いた部屋から新しい利用者を入れていくというお話を聞いた。福祉棟に関しては、スタッフが建物を工夫して利用している印象だった。